



Hakuyosha
CLEAN LIVING



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 白洋舎
コード番号 9731 URL <http://www.hakuyosha.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)松本 彰
問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)丹羽 義己
四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 無
四半期決算説明会開催の有無 無

(TEL)03(5732)5111

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	10,295	△2.5	△1,222	—	△1,195	—	△908	—
2019年12月期第1四半期	10,556	△3.7	△1,078	—	△1,067	—	△830	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △1,173 百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 △737 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△239.54	—
2019年12月期第1四半期	△217.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	37,686	8,611	21.4
2019年12月期	38,180	9,899	24.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 8,055 百万円 2019年12月期 9,330 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 __ 社 (社名) 、除外 __ 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期 1 Q	3,900,000株	2019年12月期	3,900,000株
2020年12月期 1 Q	109,034株	2019年12月期	108,901株
2020年12月期 1 Q	3,791,032株	2019年12月期 1 Q	3,809,313株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年1月1日～3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の縮小により、景況感が大幅に悪化しました。収束については依然見通しの立たない状況であり、先行きは不透明であります。

当社グループでは、従前より「CLEAN LIVING 2020」をテーマとする中期経営計画(2018年から3ヵ年)に基づき、「人々の清潔で快適な生活空間づくり」に貢献するための成長戦略の遂行や構造改革等に努めておりますが、併せて、新型コロナウイルス感染拡大に伴う大幅な需要低下への対応、および収束後の業績回復を展望した構造改革の加速化に向け、取り組みを行っております。

当社グループの第1四半期連結累計期間における業績は、衣料品のクリーニングを主軸とする事業の性質上、季節的要因から例年低位に推移する傾向にあります。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う得意先ホテルの稼働率低下等により、リネンサプライ事業の売上が減少したこと等から、当社グループの売上高は102億9千5百万円(前年同四半期比2.5%減)、営業損失は12億2千2百万円(前年同四半期は営業損失10億7千8百万円)、経常損失は、11億9千5百万円(前年同四半期は経常損失10億6千7百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、9億8百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失は8億3千万円)となりました。

なお、連結子会社の第1四半期決算日は2019年12月31日であることから、先述の業績には連結子会社における新型コロナウイルス感染拡大の影響は反映しておりません。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

<クリーニング>

個人向けのクリーニング事業については、中長期的に需要が縮小する傾向にありますが、お客さまから直接ご意見を頂戴する懇談会の開催等、お客さまの声を聴く活動を推進すること等により品質やサービスの差別化を図るとともに、システム基盤の整備による業務の効率化や、採算を重視したサービス店舗網の見直し等を通じ、収益性の改善にも取り組んでおります。

クリーニング事業の第1四半期連結累計期間における業績は、季節的要因から例年低位に推移する傾向にあります。当第1四半期連結累計期間においては、昨年度よりも衣替えの時期の到来が遅かったことや、新型コロナウイルス感染拡大に伴う来店客数の減少等から、クリーニング事業の売上高は39億4千7百万円(前年同四半期比1.8%減)、セグメント損失(営業損失)は10億4百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)11億5千2百万円)となりました。

<レンタル>

レンタル事業は、主にホテル・レストラン等のリネン品を取り扱うリネンサプライ部門と、コンビニエンスストアや外食産業、食品工場等のユニフォームを取り扱うユニフォームレンタル部門との、2つの部門からなる法人向け事業であります。

リネンサプライ部門においては、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたホテル数の増加等を背景とした市場の拡大を見込み、工場設備の増強等による生産体制の強化を計画的に推進しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う得意先ホテルの大幅な稼働率低下により、売上が減少いたしました。

また、ユニフォームレンタル部門においても、得意先テーマパークの休園等の影響により、増収には至りませんでした。

これらの結果、レンタル事業の売上高は56億4千9百万円(前年同四半期比3.1%減)となりました。また、取引量の減少に対応し、工場の休業等によりランニングコストの削減を図りましたが、人件費やリネン消費費等の固定費の負担が大きく、セグメント利益(営業利益)は1億8千3百万円(前年同四半期比51.5%減)となりました。

<不動産>

不動産事業では、不動産の賃貸および管理・仲介を行っております。

不動産事業の売上高は2億1百万円(前年同四半期比3.3%減)、修繕費用の増加等により、セグメント利益(営業利益)は9千8百万円(前年同四半期比13.5%減)となりました。

〈物品販売〉

物品販売事業では、クリーニング業務用の機械・資材や、ユニフォーム等の販売を行っております。

連結子会社において、クリーニング機械の売上が減少したことから、物品販売事業の売上高は5億6千9百万円(前年比15.5%減)となりましたが、営業経費の圧縮に努めたこと等から、セグメント利益(営業利益)は4千4百万円(前年比19.7%増)となりました。

〈その他〉

その他の事業として、モップ・マットのレンタルや、店舗・オフィスの清掃・建物管理等を手がけるクリーンサービス事業を行っております。その他事業の売上高は5億4千3百万円(前年同四半期比0.9%減)、セグメント利益(営業利益)は、2百万円(前年同四半期比90.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億9千4百万円減少し、376億8千6百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加5億1千万円、受取手形及び売掛金の減少7億3千9百万円等により3億9百万円減少し、128億2千7百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の減少4億2千万円等により1億8千4百万円減少し、248億5千8百万円となりました。

また、流動負債は、短期借入金の減少3億1千6百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加19億6千2百万円等により11億2千3百万円増加し、130億8千万円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少1億6千2百万円等により3億3千万円減少し、159億9千3百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少10億5百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億7千万円等により12億8千7百万円減少し、86億1千1百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末の24.4%から21.4%へ減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、2020年4月22日に発表いたしました2020年12月期の業績予想(未定)から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	668	1,179
受取手形及び売掛金	4,933	4,193
たな卸資産	6,740	6,691
その他	835	805
貸倒引当金	△41	△41
流動資産合計	13,137	12,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,329	21,319
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,789	△14,814
建物及び構築物(純額)	6,539	6,505
機械装置及び運搬具	10,209	10,176
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,372	△7,438
機械装置及び運搬具(純額)	2,836	2,738
土地	6,333	6,333
その他	5,377	5,349
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,852	△3,890
その他(純額)	1,525	1,459
有形固定資産合計	17,234	17,035
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,999	2,578
差入保証金	1,589	1,568
繰延税金資産	1,662	2,183
退職給付に係る資産	914	886
その他	156	156
貸倒引当金	△91	△91
投資その他の資産合計	7,231	7,282
固定資産合計	25,042	24,858
資産合計	38,180	37,686

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,261	3,059
短期借入金	2,110	1,794
1年内返済予定の長期借入金	2,914	4,876
1年内償還予定の社債	25	25
未払法人税等	99	53
賞与引当金	216	362
その他の引当金	23	29
その他	3,306	2,879
流動負債合計	11,957	13,080
固定負債		
社債	12	12
長期借入金	8,088	7,925
役員退職慰労引当金	43	42
役員株式給付引当金	99	106
環境対策引当金	61	61
退職給付に係る負債	4,378	4,389
資産除去債務	271	272
その他	3,367	3,182
固定負債合計	16,323	15,993
負債合計	28,280	29,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	1,504	1,508
利益剰余金	4,608	3,603
自己株式	△344	△344
株主資本合計	8,178	7,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	804	533
為替換算調整勘定	△55	△53
退職給付に係る調整累計額	402	397
その他の包括利益累計額合計	1,151	877
非支配株主持分	569	556
純資産合計	9,899	8,611
負債純資産合計	38,180	37,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	10,556	10,295
売上原価	10,070	9,901
売上総利益	485	394
販売費及び一般管理費	1,563	1,616
営業損失(△)	△1,078	△1,222
営業外収益		
受取配当金	10	10
受取補償金	22	27
為替差益	-	6
その他	49	52
営業外収益合計	82	97
営業外費用		
支払利息	51	53
為替差損	13	-
持分法による投資損失	4	8
その他	2	9
営業外費用合計	71	70
経常損失(△)	△1,067	△1,195
特別損失		
固定資産処分損	18	10
投資有価証券評価損	-	27
特別損失合計	18	37
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,085	△1,233
法人税、住民税及び事業税	80	69
法人税等調整額	△318	△403
法人税等合計	△237	△333
四半期純損失(△)	△848	△899
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	8
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△830	△908

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純損失(△)	△848	△899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	△270
為替換算調整勘定	△7	3
退職給付に係る調整額	△5	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	12	0
その他の包括利益合計	111	△273
四半期包括利益	△737	△1,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△715	△1,181
非支配株主に係る四半期包括利益	△22	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	物品販売 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	4,020	5,832	207	674	10,735	548	11,283	△727	10,556
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△1,152	379	113	37	△622	21	△600	△477	△1,078

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△477百万円には、セグメント間消去33百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△511百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	物品販売 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	3,947	5,649	201	569	10,367	543	10,911	△615	10,295
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△1,004	183	98	44	△678	2	△676	△546	△1,222

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△546百万円には、セグメント間消去21百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△567百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間より、「その他」で区分しておりました「物品販売」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、3月以降に得意先ホテル稼働率の低下が発生しております。連結子会社の第1四半期決算日は2019年12月31日であることから、当該事項の連結業績に対する影響は、第2四半期連結会計期間以降に見込まれますが、当該影響額については、現在算定中であります。